

# 砂川市少年の主張大会

## 主張全文紹介②

### 優秀賞「自己分析」

砂川中学校3年 生田 咲穂



皆さんは、レストランで注文のトラブルを経験したことはありますか。私は、覚えているだけでも4回はありました。サーモンが届かなかったこと。覚えのないハンバーグが届いたこと。パスタが何故か2皿届いたこと。届いたガトーショコラが解凍されていなかったことなど。どれも家族と一緒にだったため、無事に解決しました。

しかし、私はそれぞれのパターンで親が取った行動の違いが気になりました。商品が届かなかったり、間違えられたりしたときは、店員を呼んで解決。解凍されていなかったりしたときには呼ばずに解決しました。この違いは何によって生まれるのでしょうか。

まず、店員さんと呼ばれた2つのパターンの共通点は何でしょうか。商品が届かないと、自分の食べたい物が食べられず、違う商品が届いた場合も、お金を支払っているのに、食べたい物が食べられません。ですから、この2つの共通点は、「食べたいものが食べられず、損をしてしまう」ということです。

次に、店員さんと呼ばなかったパターンの共通点を探してみます。商品が多く届くと食べきれないことが想定されますが、家族で食べるときはこれをよしとしました。なぜなら、家族で分け合えば食べきれ上、とてもお得だからです。商品が解凍されていなかったときは、「意外と美味しいね」と新たな発見に驚いていたのを覚えています。つまり、この2つに共通していることは、「自分に得があった」ということです。

以上のことから、私は2つのパターンの違いが損得の意識にあると考えました。損をしているから店員を呼んでもとにもどしてもらおう。得をしているからそのまましておこう、ということなのです。

ここから、さらに話を広げてみます。このような小さな出来事のちょっとした違いが、私たちの考え方を表しているのなら、会社や学校でもその考えを元に動いている可能性が高いと思います。なぜなら、日常生活で、「よく使う考え方」というのは、焦ったときや、大切な仕事をこなすときにも使ってしまうものだからです。

では、私たちはその考え方をどのようなときに使っているのでしょうか。私の場合は、損得を意識して行動していることがわかったので、学校で友人が失敗をしたときの私の行動を予測してみます。自分が得をしていたり、被害がなかったりした場合は、何も言わずに見ているだけ。しかし、自分に被害があったらきっととても怒るでしょう。なぜなら損をしているからです。

このように、日常生活から自分がどのような行動をとっているか思い浮かべることで、自分がその時にどんな考えを持っていたのか見つけることができます。そして、そこから「もしこうなったら」ということを想像し、自分の行動の改善点を見出してみましょう。そうすることで物事に落ち着いて対処できるようになります。さらに、他のちょっとしたトラブルから自分の新たな考え方を見つけ出すことで自己分析ができるのです。ですから私は、日常生活の出来事を自分の成長につなげられる大人になっていきたいです。

みなさんも店での注文に限らず、今まで生きてきた中でトラブルを経験したことがあると思います。そのときの、自分が取った行動を思い返してみてください。そこから、自分の考え方を見つけ出し、「もしも」を考え、改善点を見つける。こうした自己分析を繰り返して自分の世界を広げてみると、新たな発見が生まれてくるとと思います。

#### 審査員の講評

家族での外食の際に、2つの行動の違いに気づき、その行動の意味について考えていました。自己分析し自分の新たな考え方を見つけ出すことが、自分の成長につなげられる大人になると、身近なことを具体例にすることで共感しやすい主張になっていたと思います。